

9月15日(金) シンポジウム第1室(731)

【中高大連携の重要性について】

提案者 長 勝彦 (東京都墨田区立両国中学校)

「今、公立中学校の英語教育はどのような環境に置かれているか」現場から報告したい。

1. 私立中学校と公立中学校の英語授業時数の格差について:

昭和56年(1981)に施行された『中学校学習指導要領』により、公立中学校の英語授業時数が年間105時間(週3時間)となった。一方、私立中学校では、この時を契機に週あたり4時間から5時間、6時間、7時間、8時間となった。この結果、今日、公立中学校はどのようになったか。

資料1 (返子開成中学校の英語授業時数)

8時間(年間280時間)

- ① 教科書を中心とした授業・・・4時間(年間140時間)
- ② 外国人講師による英会話・・・2時間(年間70時間)
- ③ AVC・LL教室での授業・・・2時間(年間70時間)

資料2 (両国中学校の英語授業時数)

① 職員会議資料(平成6年11月) ・平成7年度授業配當時数検討資料

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	外国語	選択	道徳	特活	計	裁量
1学年	5	4	3	3	2	2	3	2	3 ④	0	1	1 ②	+1 30	2
2学年	4	4	4	3	1 ②	1 ②	3	2	3 ④	0 ②	1	1 ②	+3 30	2
3学年	4	2 ③	4	3 ④	1	1	3 ④	2 ③	3 ④	0 ④	1	1 ②	+5 30	2

② 職員会議資料(平成7年3月)・・・平成7年度届出授業時数

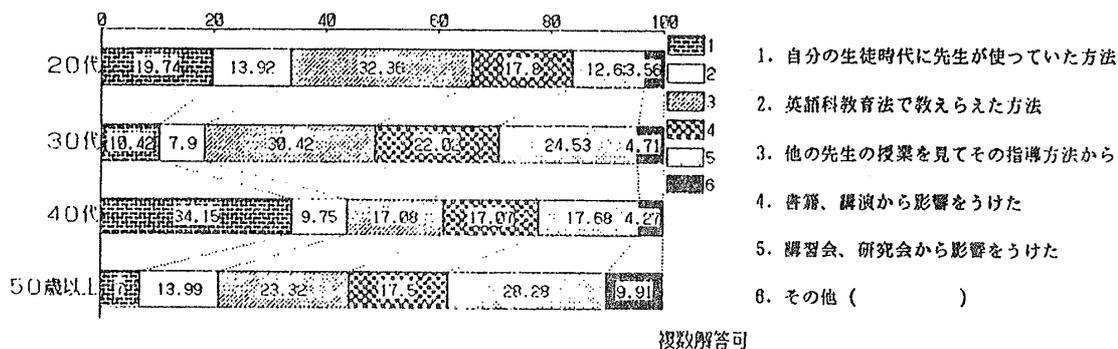
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	外国語	選択	道徳	特活	計	裁量
1学年	5	4	3	3	2	2	3	2	④	0	1	1	30	2
2学年	4	4	4	3	1	1	3	2	④	②	1	1	30	2
3学年	4	3	4	4	1	1	3	2	④	②	1	1	30	2

2. 「東京都公立中学校における英語教育実態調査」より

—東京都中学校英語教育研究会研究部—

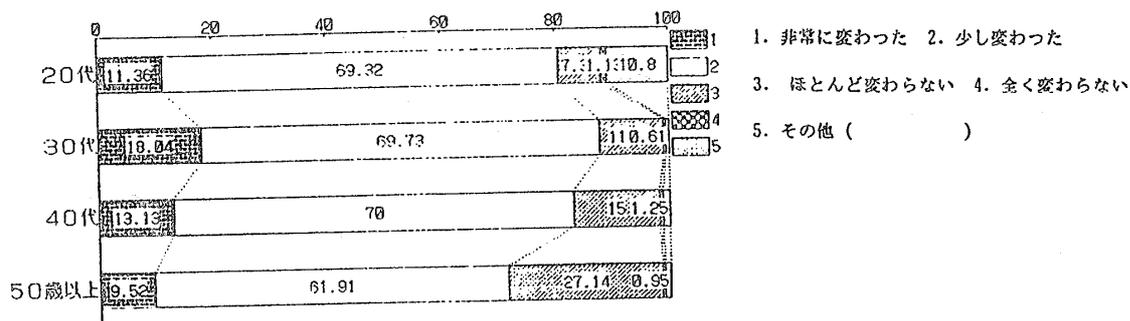
資料3

① あなたの現在の指導法に最も影響を与えているものは何ですか。

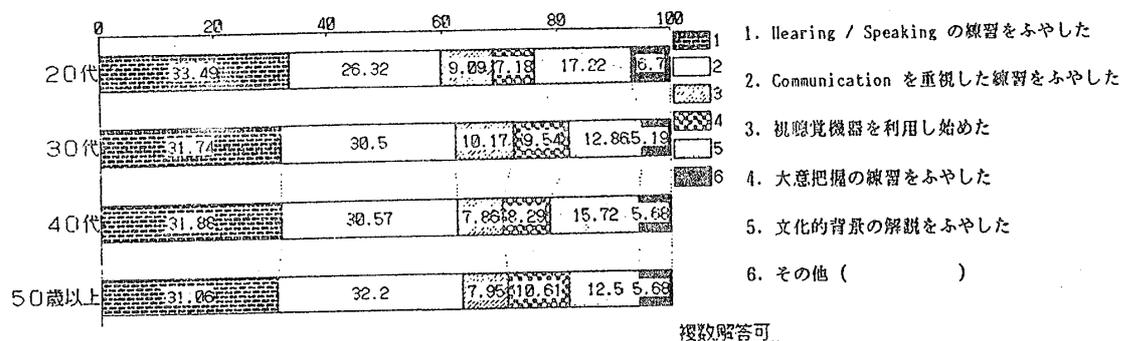


9月15日(金) シンポジウム第1室(731)

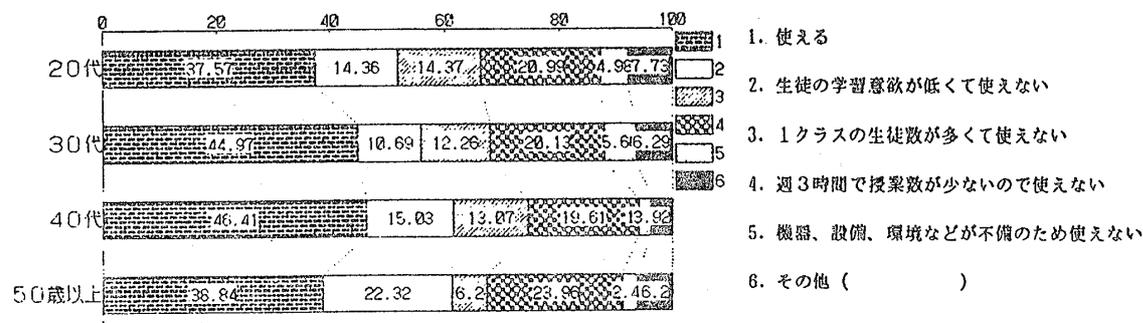
② あなたの指導方法は、この数年間で変わりましたか。



③ 以前と比べてどのように変わりましたか。



④ 自分がよいと思う指導法を授業に組み入れて使えますか。



3. 初任者研修の現状:

- | | |
|--|--------------------|
| 4/ 4: 開講式・教員のサービスと心構え・区内見学 (区の概要・地域理解) | 10/ 3: 学校図書館教育の推進 |
| 4/18: 学校教育の現状と課題 | 10/24: 研究授業 (小学校) |
| 4/25: 生活指導の理論と実際 | 11/14: 研究授業 (中学校) |
| 5/ 9: 学級経営の意義と指導 | 12/12: 男女平等教育の推進 |
| 5/23: 救急法実技研修 | 12/19: 専門職人の生き方に学ぶ |
| 6/ 6: 水泳実技研修 | 2/13: コンピュータ教育の推進 |
| 6/20: 授業の評価の工夫 | 2/20: 研究授業 (小学校) |
| 6/23: 人権尊重教育の推進 | 2/27: 同和教育の推進 |
| 9/ 5: 教育相談の進め方 | 3/12: 閉講式・教師と研修 |
| 9/19: 道徳教育の推進 | |